

1 単 元 給食大解剖

2 情報の交流を行う場面と方法【まとめる場面】

自分の考えと根拠を1枚のスライドに分かりやすくまとめるために、映像・写真・グラフ・図などの集めた情報の中から、3つだけにしぼって取捨選択したり、見直したりする。

3 情報の交流により期待される効果

必要な情報を取捨選択したり、見直したりすることで、自分の考えとその根拠を練り上げることができる。

4 指導計画（8時間完了）

- (1) 「すがたをかえる大豆」を読んで・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (2) 栄養職員さんや調理員さんに取材しよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (3) 自分の考えと根拠を1枚のスライドにまとめよう・・・・・・・・・・・・ 3時間（本時1/3）
- (4) 自分の考えを分かりやすく発表しよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の指導

- (1) 目標
 - 集めた情報の中から、自分の考えの根拠となる情報を選ぶことができる。
- (2) 準備
 - 子ども：発表用スライド
- (3) 指導過程

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価の観点と方法
5分	1 本時のめあてを確認する。	○ 自分や友達が集めた情報を見比べ、3つだけを選ぶことを確認する。	
10分	2 集めた情報を一覧で見比べる。	○ 映像・写真・グラフ・図などの情報を一覧で見て、印象に残ったことや気付いたことを話し合わせる。	
15分	3 集めた情報から3つだけを選ぶ。	○ 選んだ情報から何が伝わるのか発言させる。 ○ 選んだ情報の横に、説明を言葉で記述させる。 ○ 自分たちのまとめの考えを言葉で記述させる。	○ 何を伝えたいか考えながら情報を選ぶことができるか、話し合いの様子や発表用スライドへの記述内容からつかむ。
10分	4 選んだ情報を見直す。	○ 選んだ情報から伝わることとまとめの考えが合っているか話し合わせる。	○ 選んだ情報が考えの根拠になっているか考えることができるか、話し合いの様子からつかむ。

5分	5 次時の活動への見通しをもつ。	○ よりよい情報に変えたり、タイトル・見出しをつけたりして、発表用スライドを完成させることを知らせる。	
----	------------------	---	--

6 実践の様子

集めた情報を見比べる場面では、映像・写真・グラフ・図などの情報を一覧で見たり、大きく表示したりしながら、印象に残ったことや気付いたことを話していた。「写真やグラフから何が伝わるだろう」と投げ掛けると、「ひよこ豆って本当にひよこにそっくりだね。」「この写真は大豆だよ。味噌の原料なんだね。」「普通のねぎと水耕ねぎの違いがよくわかるね。」など、集めた情報を振り返ったり、どんなことが伝わるのかを考えたりする様子が見られた。

集めた情報から取捨選択する場面では、どの情報に載せるか話し合いながら、発表用スライドに写真などを配置する姿が見られた。「ピリ辛スープ」について調べたグループでは、調理の工夫や栄養豊富なことを伝えるために、取材のときの映像や自分たちで撮った写真を載せた。また、ある子どもが献立表を見直し、「信州味噌って、普通の味噌とちがうのかな。」と言ったことをきっかけに、信州味噌について調べたことを載せることにした。そして、自分たちの考えとして、「給食には栄養がたくさん入っていることが分かった。」と結んだ。

調理の工夫が考えに生かされていなかったもので、「取材で一番印象に残ったことが何かな。」「大豆の原料って何かな。」と投げ掛けると、「調理員さんのことが考えに書いてないね。」「全ての食材は生き物からできているんだ。」と気づき、その結果、自分の考えとして、調理員さんの工夫にふれたり、食べ物を大切にしようという考えを追加したりすることができた。



情報の交流を行う様子



完成したスライド

7 成果と課題

- 集めた情報を一覧で見比べながら、その中から3つだけを選ぶ活動において、意見の交流を行ったことにより、選んだ情報で何が伝わるのか、何が考えの根拠となっているのかを考えることができた。
- 一部の発言力のある子どもの意見で取捨選択が決まってしまう、自分の考えを深めることができない子どもがいた。